

倉敷市立中央図書館蔵

三島中洲展



三島中洲（みしまちゅうしゅう）は、天保元年（1830年）窪屋郡中島村（現在の倉敷市中島）に生まれた漢学者です。

山田方谷に学んだ後、備中松山藩に仕官し、戊辰戦争で朝敵となった藩の存続に尽力しました。維新後は上京して法官となり、東京帝国大学教授、東宮侍講、宮中顧問官などの要職を務めました。二松学舎（現在の二松学舎大学の前身）の創設者でもあり、明治三大文宗の一人です。

倉敷市立中央図書館では、中洲の親族大橋家より、自筆の書軸・扇などの寄贈を受けました。今回はその一部をご紹介します。

備中松山藩で大胆な財政改革を行ったとされる方谷。その弟子の筆頭である中洲はどのような人物だったのか、これらの資料からうかがい知ることができるかもしれません。



五言絶句「噴泉如白霧」云々 倉敷市立中央図書館蔵



「菊松多喜色」 倉敷市立中央図書館蔵

- ◆ 期間 平成25年8月3日(土)～9月26日(木)
- ◆ 場所 岡山市立中央図書館 2階展示コーナー

(岡山市北区二日市町56) TEL:086-223-3373

岡山市立中央図書館と倉敷市立中央図書館は、ともに昭和58(1983)年に開館し、今年開館30周年を迎えます。これを記念して、互いの特徴的な郷土資料を交換展示いたします。